

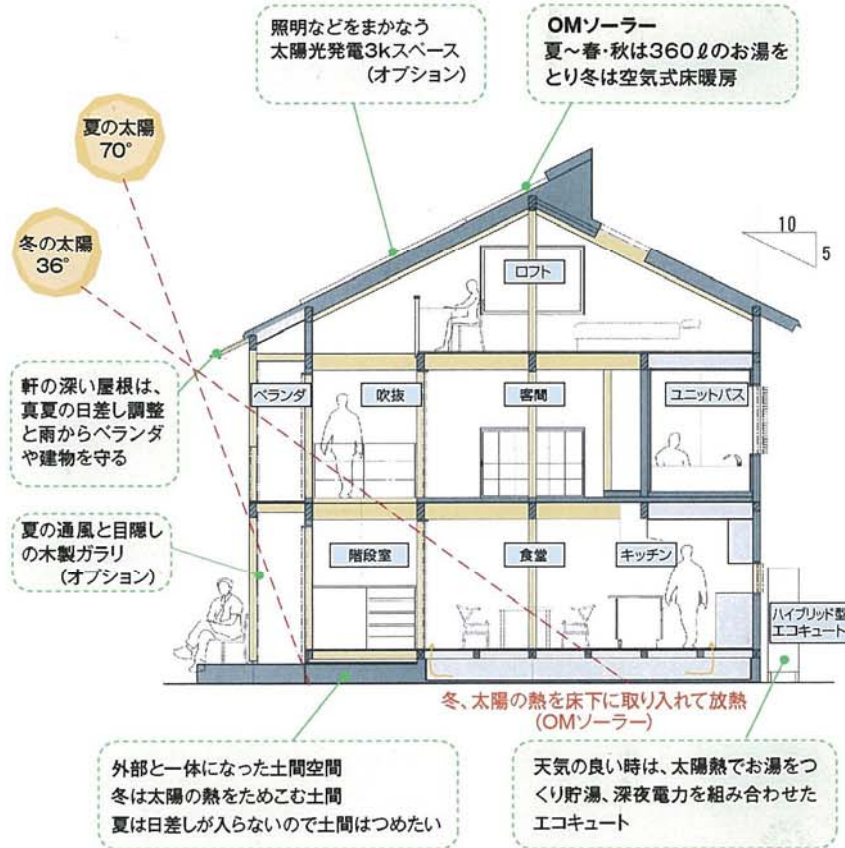
「3つのフロアーをもつ住まい」とは・・・

地震に強い構造体を持ちながら、無駄なく空間を利用することにより、
最所に最大限の生活空間をローコストで実現。

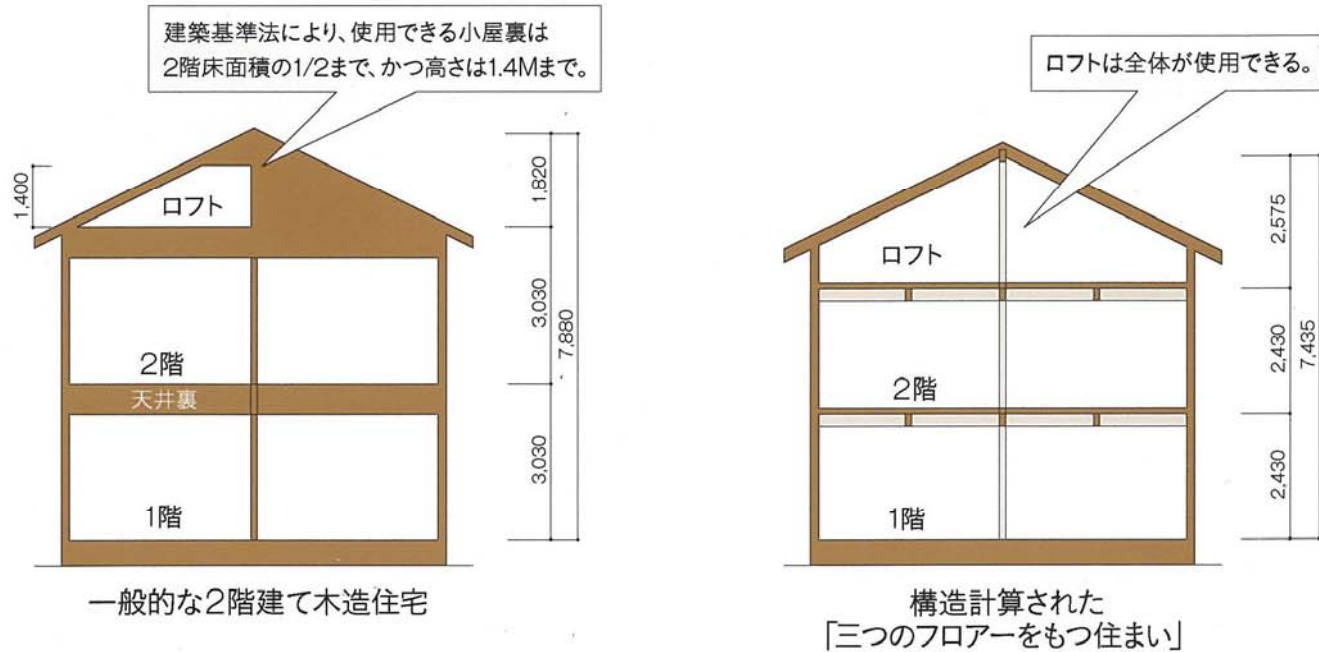
余裕のある空間の中で、生活者のライフスタイルに応じて柔軟に間取りを変更できるように、
基本設計された注文住宅です。

3つの大きな特徴

- 安全性** 構造計算「許容応力度設計」された木造3階建て住宅です。
一般的な木造2階建て住宅より精度の高い構造計算を行い、地震・風圧に対して強い住まいを実現。(長期優良住宅耐震等級2~3)
- 快適性** 高い省エネルギー性能を得た構造体と、設計上の工夫(土間空間)や、自然エネルギーの活用(OMソーラー)で、夏も冬も快適に暮らすことができる。
- 可変性** 構造的に必要な壁は、外周部+aで確保してあるので、3つのフロアーとも自由に内部空間をレイアウトできる、スケルトン・インフィルの実現。

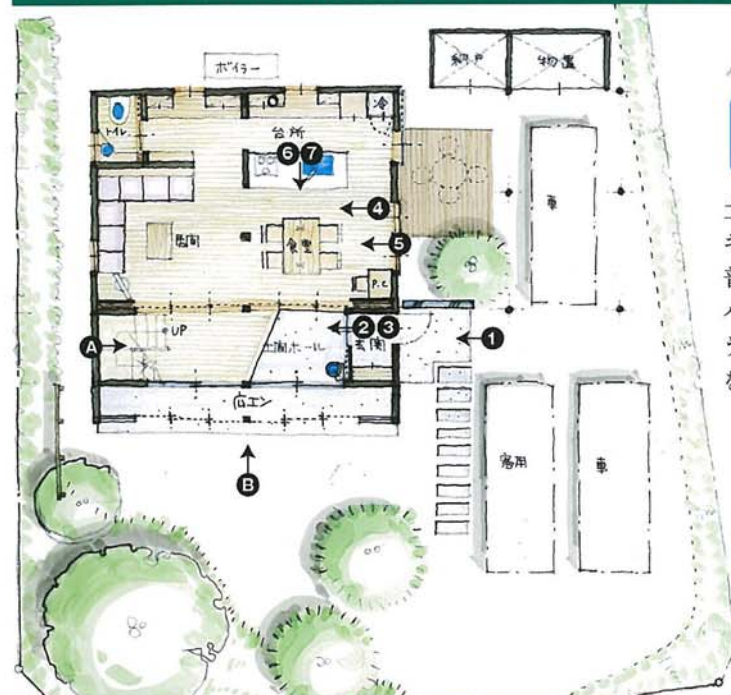


普通の木造住宅との違い



- 全体の高さは木造2階建てと同じなので、周囲に圧迫感を与えない。
- 2階建てにかかる費用+aでロフト部分を全面使用できるので、建築費/使用面積(坪単価)を抑えることができる。(コストダウンの実現)

事例 / 下伊那郡下條村・Kさんの家



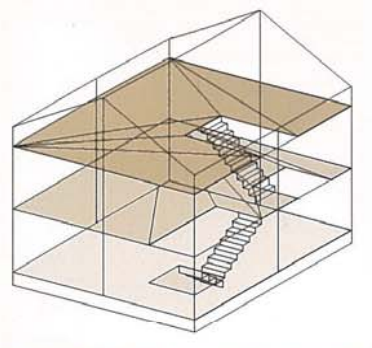
1つ目のフロアー

土間玄関・居間・ダイニングキッチンで構成。普段家族全員で使用するパブリックな空間を広々と使う。必要に応じて、土間玄関を仕切ることができる。

しっくい壁と木製断熱ドア。コンクリート打ち放しの玄関アプローチ。



南信州で育まれた木材でつくる —3つのフロアーをもつ住まい—



1 南に面した明るい階段。ロフトへと繋がる。



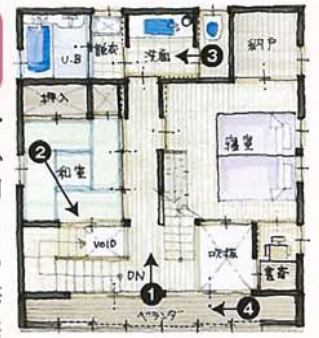
2 和室から階段を見る。和室を閉じれば寝室に。



3 洗面・脱衣・バスルームも、一室空間になる。
(必要に応じて仕切る)

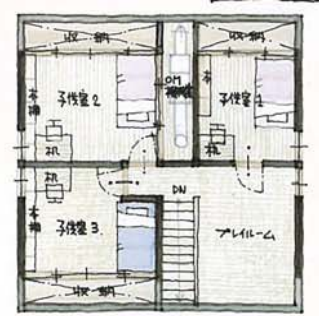
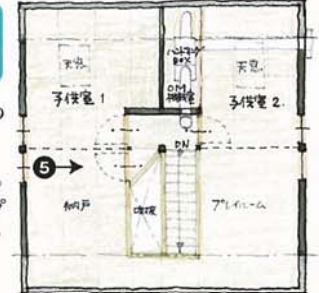
2つ目のフロアー

寝室を中心に洗面・トイレ・バスルームと、プライベートな用途の部屋で構成。和室は客間としても使用できるが、子供が小さいうちは子供達の寝るところ。



3つ目のフロアー

子供の成長に合わせて変更。最初はワンルーム。数年後は3部屋+ブレイクルーム。



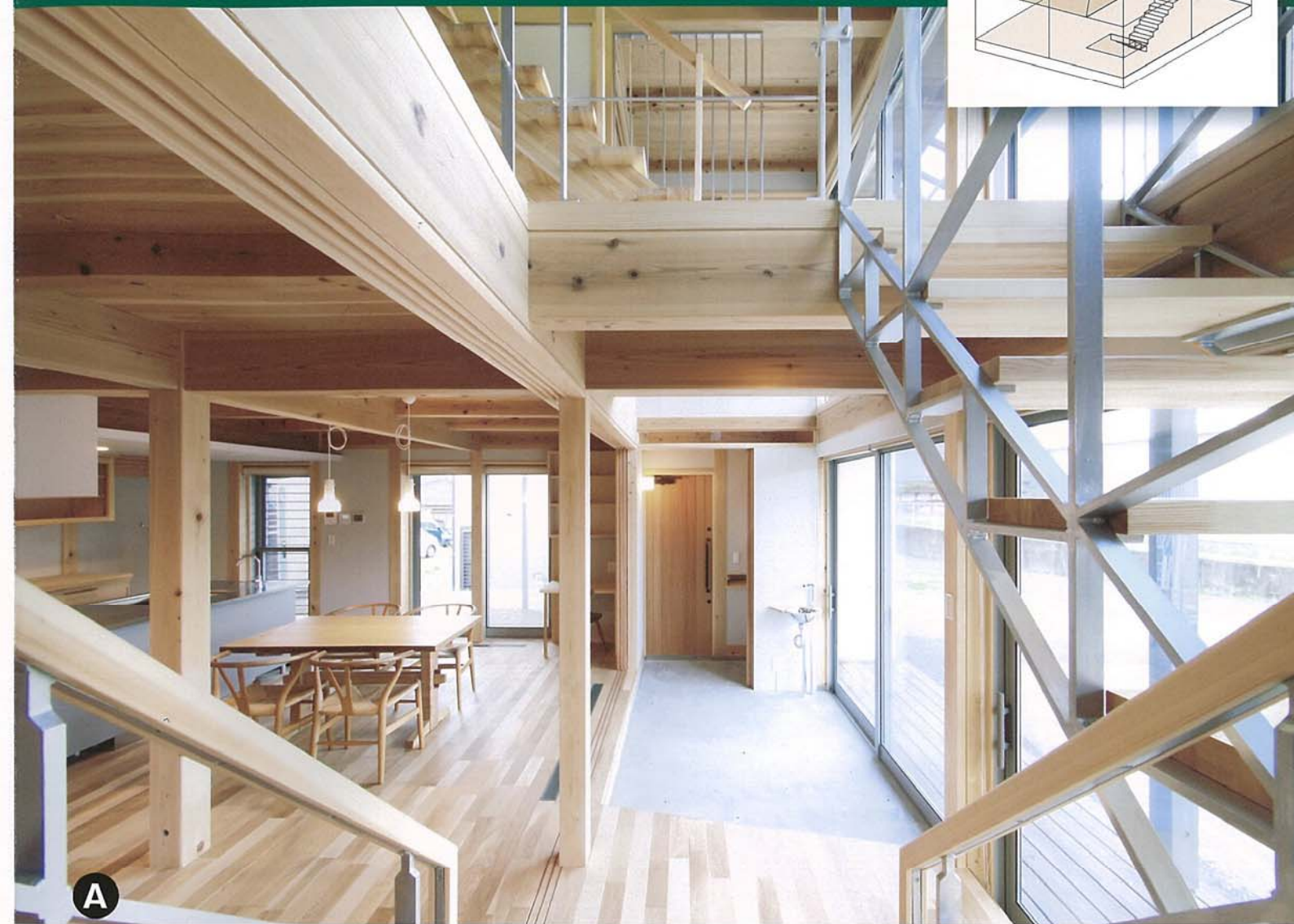
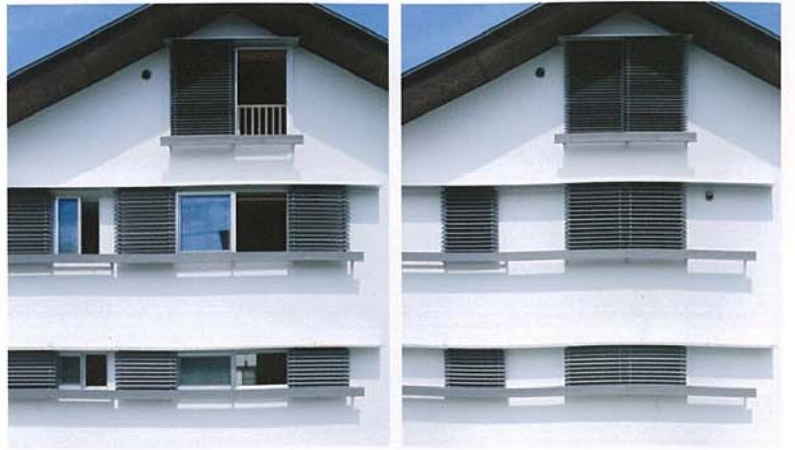
4 洗濯場からまっすぐベランダへ。



5 広々としたロフト空間。

西側のファサード(西日除け遮熱レバー)

冬は開けてあたたかい西日を取り入れる。(写真左)
夏の強い西日と、道路からの視線をさえぎりながら、通風を確保できる。



A この地域で生産される無垢の桧・杉・唐松材などで、自由な空間が可能な構造体を実現したい…。そんな想いから「3つのフロアーをもつ住まい」は生まれました。

下伊那郡下條村・Kさんの家



B シンプルだが、深い底に守られた明るいベランダ・スレエンなど、機能的な南側外観。

1級建築士事務所 / 設計・施工 / OMソーラーの家
大蔵建設株式会社
 長野県飯田市丸山町2丁目6732-13
 TEL.0265-24-6464 FAX.0265-24-6465
 E-mail om-okura@avis.ne.jp HP http://www.avis.ne.jp/~om-okura/
 社長のブログ [南信州木築日記](http://lookura.exblog.jp/) | 検索 <http://lookura.exblog.jp/>

OKURA CONSTRUCTION

大蔵建設株式会社